



2024.
10.12^{SAT} | 11.24^{SUN}

9:00-17:00 (入館は16:30まで)

※10月12日(土)は正午から一般公開

休館日: 毎週月曜日(10月14日[月祝]、11月4日[月休]は開館)、
10月15日(火)、11月5日(火)

一般1000円、高大生500円、中学生以下無料

※コレクション展(常設展)観覧料を含む ※20名以上の団体は2割引

※一宮市内の満65歳以上で住所・年齢の確認ができる公的機関発行の証明書等を提示された方、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳(ミライロID)を持参の方(付添人1人を含む)は無料

開館記念日(11/3) 無料観覧デー

11月3日(日祝)は開館記念日のため、無料でご鑑賞いただけます

清須市はるひ美術館・稲沢市荻須記念美術館 相互割引

清須市はるひ美術館 特別展「ぞうのエルマー-絵本原画展 いっしょにカラフルパレード」(8/3~10/14)、稲沢市荻須記念美術館 特別展「安野光雅展 イマジネーション・ワンダーランド」(10/26-12/8)のいずれかの観覧券(半券可)ご提示で、本展観覧料が2割引となります(1枚につき1名限り・割引の併用不可)。

一宮市三岸節子記念美術館



〒494-0007

愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1

<https://s-migishi.com>

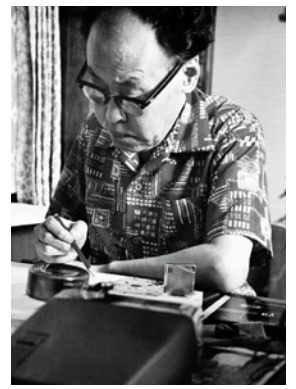
生誕
130年

武井武雄展

幻想の世界へようこそ

「童画」という言葉を生み出し、今に続く児童文化の礎を築いた芸術家・武井武雄（1894-1983）。東京美術学校（現・東京藝術大学）で黒田清輝、藤島武二に師事し油彩画を学んだのち、絵本雑誌『ゴドモノクニ』に企画段階から加わり、手がけた創刊号の表紙絵と題字デザインの斬新性と芸術性に、多くの人が驚嘆しました。当時の子ども向け雑誌に掲載される絵が、附属物として片手間に描かれていると感じた武井は、「こどもには本物の芸術を与えなければならぬ」と童画家として歩むことを決意し、こどもの心に触れる絵の創造を目指し、表現の可能性を探求し続けて独自の創作世界を開拓していききました。

生誕130年を記念して開催する本展では、武井の故郷・長野県岡谷市のイルフ童画館と協力のもと、豊かな幻想世界を通じて子どもたちに夢を与える「童画」、銅版画や木版画など多様な技法で制作された「版画」、装丁・函（はこ）・本文・絵で構成される総合芸術で「本の宝石」とも称される「刊本作品」を軸に、原画類やデザインの仕事など、多岐にわたる武井の幻想にあふれる世界をご紹介します。



写真画像：武井武雄 1970年

EVENT

講演会

講師：山岸吉郎氏（イルフ童画館館長）

10月13日（日）14:00～16:00

定員／60名（先着）参加費／300円（観覧料は含まない）

申込み／9月21日（土）午前9時から右記二次元コードからオンライン申込み、または窓口にて申込み ※窓口では予約券をお渡しします。 ※オンライン・窓口ともに、定員に到達し次第、受付終了。達しない場合は当日参加可。参加費支払いは当日。



ワークショップ

イルフ童画館学芸員と一緒に、武井武雄がデザインを手がけた玩具（イルフトイス）を使ってワークショップを行います。

10月26日（土）14:00～15:30

対象／小学生（保護者同伴）

定員／15名（抽選）参加費／1,500円

申込み／10月1日（火）午前9時から10月15日（火）午後5時までに右記二次元コードからオンライン申込み、またはハガキに住所・参加者名（ふりがな）・学年・保護者名・電話番号を明記の上、郵送（10月15日必着）。



刊本作品読み語り&ギャラリートーク

イルフ童画館学芸員による、刊本作品の読み語り・ギャラリートークです。大人の方のご参加も大歓迎！

11月10日（日）14:00～16:00

参加費／無料（ただし、当日の観覧券が必要）

申込み／不要（当日直接会場）

【県民の日学校ホリデーイベント】

武井武雄ジャンボかるた大会

日時／11月22日（金）11:00～、14:00～

対象／どなたでも

参加費／不要（当日整理券配布）

※最新情報は当館SNS、ホームページをご確認ください。

※当館および一宮市が取材した記録映像・音声等は、加工せずそのままウェブサイトや広報紙に掲載することがあります。

<同時開催> 三岸節子コレクション展（常設展）

「知られざる人物画 節子の描いた美しい女性たち」

開催期間：9月7日（土）～11月24日（日）

一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1

<https://s-migishi.com>

f @s.migishi.museum

@s.migishi.museum

X @s_migishi_muse

交通案内／公共交通機関をご利用の場合

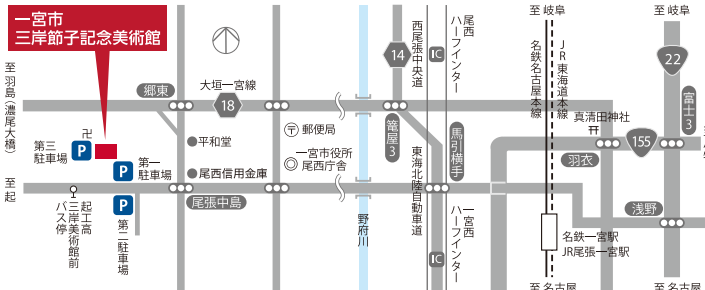
名古屋駅から電車とバスで約40分

●JR東海道本線（名古屋駅⑤⑥番）にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車

（JR新快速・名鉄特急で10～15分）、一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起（おこし）」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。

〔バスは1時間に約3本運行〕

●岐阜羽島駅（東海道新幹線）からタクシーで約20分



イルフ童画館

童画、版画、刊本作品、玩具など武井武雄の芸術を楽しむことができる唯一の美術館。「イルフ」とは武井の造語で、「フレイ」を逆さまにして「新しい」という意味を持っています。

長野県岡谷市中央町 2-2-1
TEL:0266-24-3319



画像すべて©岡谷市／イルフ童画館

2024.10.12^{SAT} | 11.24^{SUN}



①《ことりのくに》武井武雄 1955年 水彩、紙 ②《鳥の連作 No.7》武井武雄 1969年 木版画 ③《近くの世界 空》武井武雄 1950年 水彩 ④《とけいのうた》武井武雄 1974年 水彩、クレヨン ⑤ 刊本作品 | 左上から時計回り: No.49 『Harem』1961年 アップリケ/No.55『ラムラム王』1964-65年 絵入童話/No.63『祈祷の書』1966年 S ベランの本/No.31『木魂の伝記』1957-58年 寄せ木細工/No.59 『人魚と嫦娥』1965-66年 螺鈿細工/No.108 『ナイルの葦』1980年 パピルス紙、凸版 ⑥ コドモノクニ創刊号 1922年 東京社 ⑦《おもちゃ絵諸国めぐり 宮城》武井武雄 制作年不詳 伝承木版

清須市はるひ美術館・稲沢市荻須記念美術館 連携企画

①相互割引 当館「武井武雄展」観覧券（半券可）を以下の展覧会にてご提示で観覧料が割引になります（1枚につき1名限り、割引の併用不可）。

②スタンプラリー 当館「武井武雄展」と、以下の各展覧会の会期中、3館連携スタンプラリーを開催します。3つ目のスタンプを押した館にてグッズをプレゼント。

・清須市はるひ美術館 特別展「ぞうのエルマー絵本原画展 いっしょにカラフルパレード」会期：2024年8月3日（土）～10月14日（月祝）
・稲沢市荻須記念美術館 特別展「安野光雅展 イマジネーション・ワンダーランド」会期：2024年10月26日（土）～12月8日（日）